

2017年3月度 ゴルフ市場活性化委員会（GMAC）議事要旨

作成：PGS

日時：3月16日（木） 10時～12時

場所：ゴルフダイジェスト 会議室

出席：22名（JGGA、NGK、PGS、JGRA、JGJA、PGA、有識者、経済産業省、ゴルフダイジェスト、リクルート、楽天、日本旅行、DSE）

司会：手塚副委員長

1. 開会挨拶（馬場委員長）

GMACセミナーでは、スポーツ庁から政策講演がある。ゴルフ産業がこの政策と融合することがポイントとなると考えている。

また、ゴルフフェアを初めて横浜で開催することもあり、各団体に集客面でサポートしていただいているが、あと1週間フォローをお願いしたい。

2. 報告・検討事項

(1) 「GMACセミナーの内容」（詳細は、開催案内を参照）

① セミナー内容の最終確認

「ゴルフ市場活性化セミナー開催のご案内」を基に内容を確認。

第1部：スポーツ庁より基調講演「スポーツの成長産業化に向けて」

第2部：国の政策、ゴルフ産業への期待に、ゴルフ業界はどのように対応するのか？

具体的施策や方向性をパネルディスカッションにより紹介。（パネラー8名）

- ・資料は全てペーパーにて配布する。各パネラーには、資料準備の依頼済み。
- ・セミナーの流れはパネルディスカッションシナリオを参照。
- ・ダンロップ・平野委員からの発言内容に「ゴルフのたすき」プロジェクトを追加する。
- ・スポーツ庁・松山参事官補佐の基調講演は、ゴルフ新年会での鈴木長官講演内容からの抜粋となる予定。3月末にスポーツ産業ビジョンを発表するため、その内容の一部を発表すると思われる。

② 当日の役割分担・集合時刻等

- ・当日のスケジュールに関しては、資料を基に最終確認。
- ・セミナー司会進行は松尾委員が担当。
- ・各メンバーの集合時間は以下の通り。
パネラー11:00、運営メンバー・協力メンバー12:00、セミナー出演者（馬場委員長、手塚副委員長）12:30
- ・セミナー終了後、同会場で日本ゴルフツーリズム推進協会の有料セミナーが行われる。聴講者の入替えや参加費の徴収等、懸念される事項があるため、事前に調整を行う。

③ セミナー集客について

- ・現在の集客状況を資料にて説明。
- ・昨年並みの申込み人数とするよう各団体に対して再度要請があった。

(2) 「大学のゴルフ授業」の充実を目指した産学連携について（配布資料参照）

① PGA 倉本会長・井上副会長による大体連指導者養成研修会

3月2日、3日 於：首都大学東京南大沢キャンパス

- ・実技講師：井上副会長（2日、3日）、倉本会長（3日）
- ・特別講演：倉本会長「ゴルフの魅力とは一人を育てるカー」（3日）

②（一社）日本ゴルフ場経営者協会に感謝状を贈呈

3月23日開催の大体連総会(於：青山学院大学)にて、NGKに感謝状を贈呈。

③PGAとのテキスト、マニュアル、副教材の共同作成

テキスト、副教材が完成。テキストは、サンプルとして各団体にコピーを配布。(PGA承諾)

- ・PGAカレッジゴルフテキストー大学ゴルフ授業教則本ー
- ・大学ゴルフ授業カリキュラム 指導マニュアル
- ・大学ゴルフ授業カリキュラム 副教材

④「大学ゴルフ授業シンポジウム(兼第5回大学ゴルフ授業研究会)」の開催

- ・ジャパングルフフェア2日目(3/25(土))13時開始、入場無料
- ・シンポジウム、Gちゃれリサーチ、JGGAとの共同事業報告など第6部まで開催

⑤大学ゴルフ授業研究会「世話人会」組織の現状と展望

世話人：83名(3/11現在)※世話人とは大学ゴルフ授業研究会の会員のこと。

⑥Gちゃれの経緯と展望

2016年6月三者連携を経て、累計8回開催。100名以上の大学生がコースデビュー。

2017年度は全国12回開催を計画。2023年以降100回、1200名参加の展望。

⑦2017年度以降の正課ゴルフ授業(1単位)の新設

- ・目白大学(新宿)、星槎大学(通信制大学)：2017年度より新設。
- ・高崎健康福祉大学：2018年度よりゴルフ授業新設を検討。

⑧JGGAから大学へのクラブ提供に関する大体連内部ルールの変更

- ・クラブを受領しやすく、かつ受領した大学がどのようにJGGAへフィードバックをするか内部ルールを変更し運用する。
- ・上限は1大学あたり60本とする。
- ・受領後1ヶ月程度を目安に「担当教員の喜びの声」と「写真2枚程度」を提出させ、ホームページに掲載。
- ・授業修了後、従来通りレポートを提出。
- ・JGGAでは、簡単に報告してもらえば良い。内容については両者で協議。

⑨第1回大学教員とゴルフ業界関係者の親睦会の開催報告

2月24日開催 於：GMG八王子ゴルフ場

⑩2017年度以降の大体連および大学ゴルフ授業研究会に関わる研修会・研究会の予定

<大体連全国研修会>

- ・2017年9月2日～4日 宮崎公立大学(宮崎県宮崎市) ※研修内容未定
- ・2018年3月 東京都内 ※研修内容未定
- ・2018年8月 環太平洋大学(岡山県岡山市) ※研修内容未定

<大体連支部研修会>

- ・東北、関東、北陸、東海、近畿、中四国、九州の各支部で1～2回の支部主催実技研修会が開催。※時期、種目内容未定

<大学ゴルフ授業研究会>

- ・第6回大学ゴルフ授業研究会(大学ゴルフ授業シンポジウム)(JGF期間中に開催)
- ・PGAと連携した実技研修会を展開予定。詳細は未定。

(3) ゴルフ関連団体及び企業からのゴルフ活性化施策の実施状況報告と提案

①「PGAゴルフ市場再活性化策」の進捗状況報告

大体連との取組み：指導者養成研修会を実施。(3月2日、3日)

②「ゴルフマジ」現状共有(リクルートライフスタイル：3月14日現在)

- ・会員登録数：28,327名(19歳39%、20歳61%)

- ・施設利用数：45,354（練習場 41,950、ゴルフ場 3,404）
- ・今後、ゴルフ場の成功事例を取材し報告を予定。
- ・第4期ポスターは2種類を準備。
- ・第4期賛同施設数（3/15時点）：ゴルフ場 78 施設、練習場 107 施設

③「楽ゴル」進捗報告（楽天：配布資料参照）

- ・楽ゴルプラン（2017年2月）
 - ゴルフ場 177 コース、送客人数 1,649 名、練習場 340 施設、練習場利用数 519 名、4,000 円クーポン付与 1,382 名、4,000 円クーポン利用 541 名。
- ・利用者の傾向：クーポンを取得する前からゴルフを行っていた若者が大半。
- ・4,000 円利用者数は、前年と比べひと月あたり 1.5 倍程度に増加。
- ・事例報告：ラインヒル GC（栃木県）楽ゴル世代 12%、通常栃木県ゴルフ場は 5%
 - ⇒増加要因：特別料金、レンタルクラブ無料、シューズ無料

④「ゴルフ場を地域との交流の場として活用した地方創生事業」日本旅行

- ・兵庫県加東市：「地方創生」の一環として初心者女子ゴルファー向け企画を提案。
- ・沖縄県：5/20 にカヌチャ GC でロケを実施。たびーらゴルフの PR。（吉本興業）
- ・プレミアムアウトレットとの連携：酒々井アウトレット

⑤「ゴルフのたすき」プロジェクト（ダンロップスポーツ、ゴルフネットワーク）

- ・新規ゴルファーのゴルフ継続率向上を目的としたプロジェクト。
- ・ゴルフ初心者を指導する身近な世話役にスポットを当てた番組とイベントを実施。
- ・ゴルフネットワークより GMAC に参画したいとの要請があり、承認。
 - ⇒今後の課題：入退会の規程を整備していく必要がある。

3. 各団体からの報告及び連絡事項

- ①JGGA：ジャパングolfフェアの案内。会場マップ配布。
- ②PGS：シニア・グランドシニアあわせて 2,524 名の申込み。前年比 1,241 名の増加（本年立上げのグランドシニア 655 名含む）
- ③JGRA：JGF 会場にて「ビジネスセミナー」3/24 に開催。（ゴルフ練習場を継承する「次世代若手リーダー」の経営戦略）
- ④JGJA：ゴルフフェアにてゴルフ 3 団体の記者発表実施 3月24日 11～13時
（PGA 倉本会長、JGTO 大西副会長、JGA 永田副会長・山中専務理事）
- ⑤経済産業省：見るスポーツの観点からゴルフ大会の見せ方に関してパナソニックより提案あり。GMAC 5月会議にてパナソニックがプレゼンを実施。

4. 委員会開催日程

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 4月20日（木）15時30分～17時30分 | 於）ゴルフダイジェスト社 |
| 5月19日（金）10時～12時 | 於）経済産業省 会議室 |
| 6月15日（木）10時～12時 | 於）ゴルフダイジェスト社 |
| 7月11日（火）10時～12時 | 於）ゴルフダイジェスト社 |
| 8月22日（火）10時～12時 | 於）ゴルフダイジェスト社 |

以上